

## V. 特記事項

### 1. 学生チャレンジプロジェクト

本学では、「ものづくり」に挑戦する学生に対し、つくる場所、材料費、コンテストや大会に参加するための資金を提供し、チャレンジ精神をもつ学生をバックアップしている。応募学生グループから提出された事業計画を審査し、1件につき原則100万円を限度として資金援助を行い、自ら「ものづくり」の目標を定め実現しようとする学生の向上心を支援している。

平成30(2018)年度では、宇宙機開発プロジェクト、からくりおもちゃの製作、Ene-1GPへの参戦、体験型デジタルゲームの制作と「東京ゲームショー2019」への出展、地域資源を活用した地域活性化プロジェクト等、計30団体に対して約1,800万円の援助を実施した。

### 2. 学校法人名古屋電気学園 愛名会

「学校法人名古屋電気学園 愛名会」は平成9(1997)年に本法人創立85周年記念事業の一環として社会のニーズに応えた教育の実現と人材の育成、本学の学術的・文化的機能や情報の提供による社会の貢献、企業と学生・生徒間の迅速な就職情報の交換等を目的として発足した。

「学校法人名古屋電気学園 愛名会」の主な本学に関わる活動は以下のとおり。

- ① 総会・講演会・懇親会・就職懇談会の開催
- ② 「企業案内」の発行
- ③ 本学と共催で「学内企業展」を開催
- ④ インターンシップ制度を活用して学生受け入れの積極的な斡旋を支援
- ⑤ 本学と共催で「AIT 地元企業交流会」を開催

中でも、学内企業展は、1,000社を超える企業が参加しており、平成30(2018)年度に就職した愛工大生1,217人のうち444人が「学校法人名古屋電気学園 愛名会」の会員企業の225社に入社を決めるなど、本学の高い実就職率の基盤になっている。

また、例年、教育・研究活動等への支援として合計200万円の寄付を受けており、学生の国際交流に対する奨学金等に使用している。

### 3. 大学活性化推進プロジェクト

平成30(2018)年度から、分野を限定せず、組織を横断し、本学の活性化に繋がるプロジェクトを推進するため、大学活性化推進プロジェクトを行っている。プロジェクトは、学長が主導して設置するものと、本学の職員が応募し設置されるものがある。

プロジェクトは、最初に目標を明確にし、短期間ごとの評価目標を設け、中間報告を行い、目標を達成できなかった場合、又は最終目標が達成された場合は、終了する。

プロジェクトに掛かる費用は、学長裁量費である事業推進費から支出しており、学長の総督のもと、本学の活性化を図っている。

なお、現在までに終了したプロジェクトは次のとおり。

- ① グローバル人材育成プロジェクト
- ② 地域協働連携プロジェクト